8/04/d47 MUSEUM/EXHIBITION





## 47えんぎもの展

2025.11.14 fri - 2026.3.15 sun

開館時間:12:00-20:00 (最終入館19:30) 入館料:ドネーション形式 (会場受付)

休館日: 年末年始 \*12/31(水)は18:00までの時短営業。1/1(木)、1/2(金)休業。

会場: 渋谷ヒカリエ 8F d47 MUSEUM

主催: D&DEPARTMENT PROJECT 特別協賛: 東急株式会社、Creative Space 8/

願い、祈り、信じる。

私たちの"心のよりどころ"を47都道府県の縁起物から感じよう。

d47MUSEUMでは2012年の開館以来、「旅」「工芸」「ファッション」「食文化」など、さまざまなテーマで 47都道府県の個性を紹介してきました。第37回となる企画展のテーマは47都道府県の「縁起物」です。

日本には、福を招いたり、厄を払うことを願う、さまざまな縁起物が存在しています。しめ縄やだるま、招き 猫など、よく知られているものから、稲作の豊穣をもたらすとされる農耕神「田の神」や、雪深い地域で自 然の脅威を子どもに伝える妖怪「雪入道」の木彫りのように、現在ではごく一部の地域でつくられている ものまで。さらには、体の丈夫さや健康を表す「まめ」や「まめに働く」の語呂合わせで「黒豆」を食べる 風習が根付いていたり。また、漁網の柄「網干」文は江戸時代から「幸運を手繰り寄せる」験担ぎの文様 として大切にされているなど、人々の優しく素朴な「願い」を形にした物や習慣が愛され続けてきました。

そこには、日本に暮らす私たちが自然と持っている「目に見えない何かを信じる心」が強く結びついている ように感じます。「信仰心」というと少し近寄りがたいですが、日々の暮らしの中で、何も願わなかったり、 祈ることがないという人は少ないでしょう。このように私たちが当たり前のように持っている、「願い、祈り、 信じる」ことを、47都道府県の個性豊かな縁起物から改めて感じていただければと思います。

> D&DEPARTMENT ディレクター 黒江美穂

- 選定基準 ① 縁起物、魔よけ、験担ぎなど、暮らしの「願い・祈り」に関わる「物・食」であること
  - ② その土地の産業、文化、歴史風土など、地域個性と関連したものづくりであること
  - ③ これからも語り継ぎたい「物語」と、現代のリアルな暮らしにおける「デザイン」があること

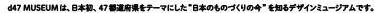
出展者一覧 ---

北海道 岡本朋也/青森 CASAICO/岩手 富川屋/宮城 つつみのおひなっこや/秋田 大館工芸社/山形 笹野一刀彫おたか 三兄弟/福島 野沢民芸/茨城 だるま食品/栃木 きびがら工房/群馬 吉田だるま店/埼玉 茶 岡野園/千葉 Bocchi / 東京 本品堂/神奈川 柏木美術鋳物研究所/新潟 笹祝酒造/富山 井波木彫工芸館/石川 津田水引折型/福井 マツ勘/ 山梨 kichijitsu / 長野 RITUAL / 岐阜 奥井木工舎/静岡 カネサ鰹節商店/愛知 玩具工房/三重 ヤシマ真珠/滋賀 明 山窯/京都 丹嘉/大阪 馬場刃物製作所/兵庫 丹波農産/奈良 堀内果実園/和歌山 かどや/鳥取 COCOROSTORE / 島根 高橋日出美/岡山 佐藤紅商店/広島 宮島工芸製作所/山口 岩川旗店/徳島 三木真由美/香川 大川原染色本舗/ 愛媛 ひなのや/高知 四万十ドラマ/福岡 うなぎの寝床/佐賀 三福海苔/長崎 小野原本店/熊本 栗川商店/大分 上野 水産/宮崎 わら細工たくぼ/鹿児島 Tenoutuwa /沖縄 スタジオ de-jin

## 展覧会をさらに深く、さまざまな視点で紐解くトークショーも開催!

会期中には出展者を講師やゲストに迎えるイベントも行うほか、47つの個性豊かな縁起物を、生まれた背景や込められた思い など、そこに息づく物語とともに紹介する展覧会公式ブックレットを2025年12月に発売します。さらに、出展者の"生の声"を 収録した音声ガイダンスも Podcast で配信! 展覧会最新情報は WEB や SNS で随時お知らせします。

@d47MUSEUM @@d47\_museum



dは「design | のd。47は「47都道府県 | の数。日本のものづくりの今を俯瞰して眺められる企画展示をメインに、様々 な講演、実演販売、体験型ワークショップなどを開催し、今の日本を実感できる、日本初のデザイン物産美術館です。 ショップと食堂も併設し、立体的に日本の個性をプレゼンテーションします。

